

地元の新組織は
NPO法人で

雑司が谷 ひろばくらぶ 発足へ

高田小跡地公園計画検討会では、高田小跡地の公園や拠点施設の運営・維持管理について、別組織を立ち上げて取り組むことを検討しています。別組織は、「高田小学校跡地の公園と拠点施設を地域のコミュニティや防災の拠点として活用し、そこに集う人が中心となって、地域のまちづくりをさらに活発化させることを目的」とし、NPO法人として活動することが決められました。会の名称は、「雑司が谷ひろばくらぶ」とする予定です。今年度中にNPO法人の認証を取る予定で、すでにいろいろな活動を開始しています。

新組織では、地域の皆さんがやりたいと思うことを募集しています。一緒に活動に参加したい方は、是非ご参加ください。最新の活動予定はまちづくりの会のHPに掲載いたします。

雑司が谷ひろばくらぶの活動実績 その1 旧高田小 野草救出大作戦

旧高田小学校の敷地には、長い学校の歴史の中で育った樹木や野草がたくさんあります。野草は工事によって失われてしまうものもたくさんありそうです。

そこで雑司が谷ひろばくらぶでは、4月30日に野草救出大作戦を行いました。参加メンバーは、詳しい人に名前を聞きながら、主な野草を自宅に持ち帰りました。大切に育てて、公園が完成した時に植え戻す予定です。



弦巻通りにベンチ



昨年度、日本女子大住居学科葉袋研究室の梶田さんが住宅地の道路脇にベンチを置く効果について研究しました。そこで製作したベンチを引き取っていただく方を募集したところ、弦巻通りで司法書士事務所をやっていたら小林さんが、事務所の前のスペースにおいてくださることになりました。事務所前のスペースは奥行1.5mほど。建物の北側なので日陰にもなります。買い物や散歩の途中で休むにはちょうどよい場所です。

小林さんに何うと、ベンチは毎日出し入れをしているそうです。ただ、残念ながら小林さんが事務所にいる時に座ってくださる方は少ないそうです。このベンチはどなたでもお気軽に使っていただきたくて設置しています。どうぞ遠慮なくお使いください。

まちづくりニュース
2017・9
通算82号

ぞうしがや

<http://zoshigaya.org>

●企画／発行
雑司が谷・南池袋
まちづくりの会
●事務局・連絡先
豊島区地域まちづくり課
事業第1グループ
03-3981-0489

高田小跡地の公園

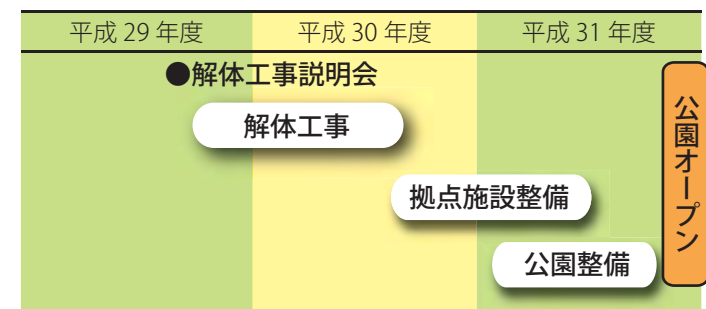
校舎の解体工事へ

校舎の解体

高田小跡地の公園計画は、いよいよ工事が始まるようとしています。最初に行うのは校舎の解体工事。現在、工事を行う建設会社の選定を行っています。10月議会で契約を承認された後に着工となります。

解体工事の前に近隣の建物の家屋調査を行います。実際の解体工事が行われるのは新年を迎えてからとなると思います。詳しい工事の内容やスケジュールは、

公園整備スケジュール(予定)



工事説明会で説明いたします。工事説明会の日程は改めてお知らせします。

公園計画の説明

豊島区公園緑地課では、本格的に工事が始まる前に公園計画について地域の皆様に説明するために、次の日程で説明会を開催します。どうぞご参加ください。

高田小学校跡地公園整備計画説明会

日時: 平成29年10月5日(木)

午後7時~8時30分

会場: 雑司が谷創造館多目的ホール

主催: 豊島区都市整備部公園緑地課

お問い合わせ: 03-3981-4948

重点道路の整備に向けて

豊島区では、居住環境総合整備事業によって地区が災害に強いまちになる事業を行っています。その中でも大きな柱となる計画は道路整備です。地区内の道路は幅員が狭い狭い道路がたくさんあり、また行き止まり道路も多いのが特徴です。静かな路地となっていて、雑司が谷らしい景観ともなっています。しかし、防災的には危険なところがたくさん残されています。

まちづくりの会では地区内の道路の整備について、今の雰囲気なるべく残しながら安全性を高めるために、特に重要な路線について6mに拡幅を行うことを提案しました。区もそれを受けて5つの重要道路を指定しています。

重要道路には優先的に整備する「優先整備道路」と、沿道の皆様と整備方法を検討しながら整備を進めていく「整備方法検討路線」があります。

その中でも旧高田小学校につながる道については、高田小跡地の公園完成後、できるだけ早く整備することが望ましいと考えています。

豊島区では今年度中に、優先整備路線について説明会を開催するなど、沿道の皆様にご説明し、ご理解をいただくようにしていきたいと考えています。また、整備方法検討路線は道路の現況測量を行う予定です。



凡例
重点道路
優先整備道路
整備方法検討路線
防災生活道路

まちづくりの会のまち点検

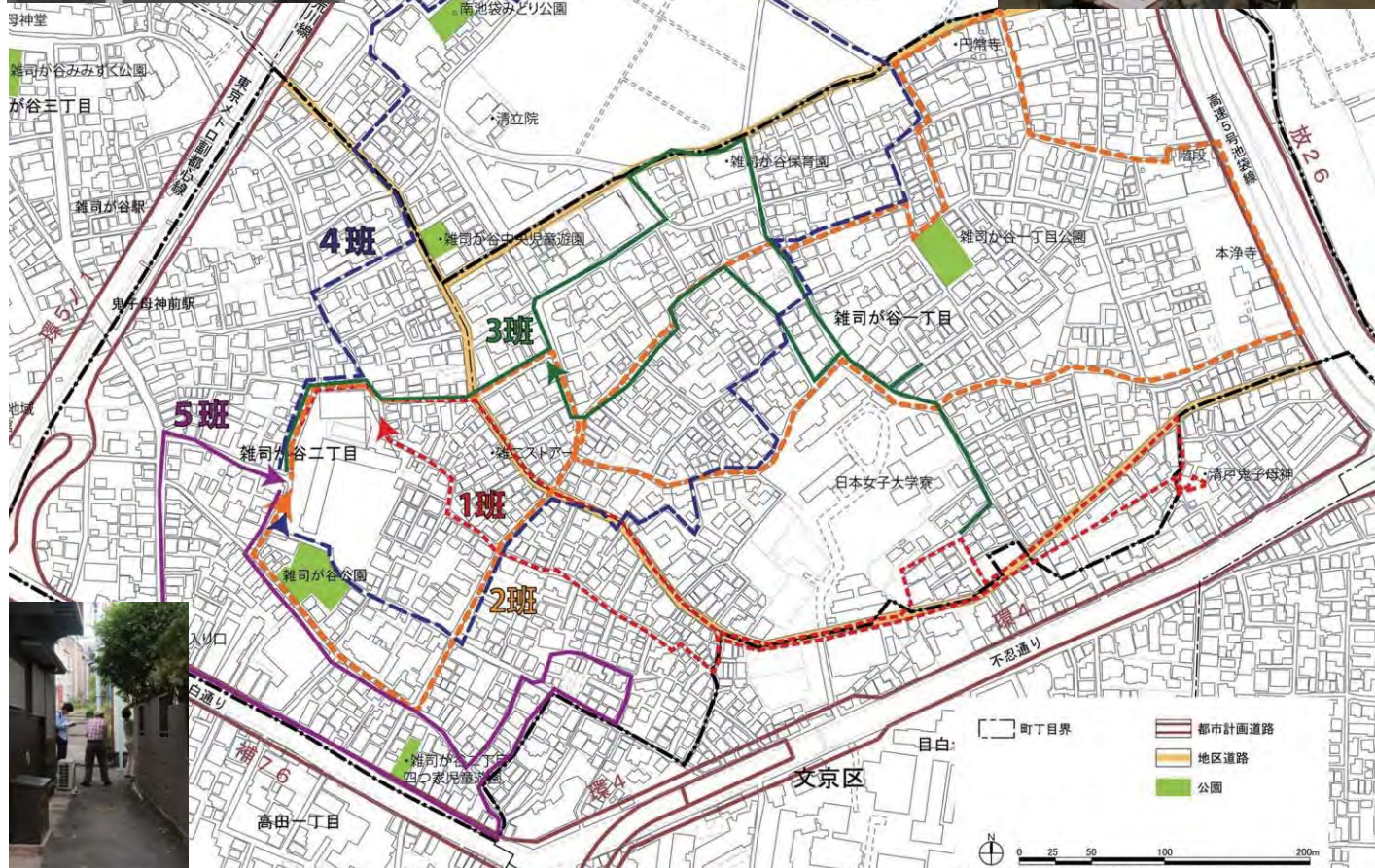


まちづくりの会では、まちのよいところや問題点を探るために6月18日に「まち点検」を実施しました。

参加したのはまちづくりの会の会員の他、区の担当者、コンサルタント、それに日本女子大と東京大学から学生も参加しました。5つのグループに分かれ、下の地図の道路を歩きました。いろいろな発見があり、まとめとして次の意見が出されました。

<民泊のゴミ対策>

- 長期の滞在客はマナーを注意すれば対応できることがある
- 大家がいる民泊はなんとか指導できる
- 公有地や空き地、だれも見えていないところにゴミを捨てている
- ゴミがあるとそこにゴミが集まってくる



<落書き>

○地下鉄出口の近くに落書きがあり、三角地にゴミと落書きが放置されている。メトロが消すべきだ

○地域活動の実績として落書き消しをしたらどうか

<雑司が谷中央児童公園>

○トイレの工事で、水飲みや時計がなくなった

○住民のまちづくり活動の組織で公園を育てる活動をしていくのがよい

<空き家>

○空き家があると防災上問題がある。早急に建替えを促していきたい

○これまでの検討では、時間をかけて雑司が谷らしい建替えを望む意見が多い

<その他>

○指摘された二丁目の飲食店の路上占有は区としても対応を考えたい

○雑司が谷らしさの写真がかなりあった

○自主的に建替えや開発の住宅でも緑化したりデザインを工夫している。そういうことを奨励したい



雑司が谷 景観まちづくり ワークショップ

雑司が谷地域を景観形成特別地区に

豊島区は平成27年に景観行政団体になり、区が主体的に景観の向上を図れるようになりました。雑司が谷地域には重要文化財の雑司ヶ谷鬼子母神堂や雑司が谷旧宣教師館、鬼子母神大門ケヤキ並木など、特出した景観資源があります。また、緑豊かな住宅地や変化に富んだ丘と坂、路地が織りなす景観は大変魅力的です。区では雑司が谷地域を景観まちづくりを重点的に推進する「景観形成特別地区」に指定したいと考えています。こうしたことから、指定の検討等に向けて、区は地域の方々を対象に景観まちづくりワークショップを開催しました。その内容をご紹介します。

第1回 ガイダンス 平成29年5月13日(土)

●豊島区景観計画の説明後、豊島区景観審議会会長の後藤春彦先生の講演をお聞きし、続いて、参加者の自己紹介と雑司が谷のまちに対する思いについて話し合いました。



(ご意見)

○ケヤキ並木を一方通行にするにはどうしたらいいか？

○雑司が谷の景観は、コモンズ(入会)のように共同管理していくことが大切ではないか。自分のものではないが、みんなのもののように感じて、大事にしたい。

○緑や花が多く、塀がないため道と自然が一体になった感じが良い。

《「緑」の魅力》

○緑がまちに向いているので道からも見える。

○ケヤキ並木の掃除は大変だが、掃除によりコミュニティが生まれ、人間関係が育まれている側面もある。

《「建築」の魅力》

○自然にまかせて新しいものを受け入れる度量を地域が持つべきだが、このような地域でありたいという地元の気持ちを共有するようにお願いしたい。

《「暮らし」の魅力》

○住んでいる人が個性的ではなく、個性ある人や個性的なものが目立つ場所。



第2回 まち歩き 平成29年6月17日(土)



●大門ケヤキ並木と環状5の1号線、商店街、住宅街、坂と丘の4つのグループに分かれてまち歩きをしました。

●気に入っているところや残したいところ、気になるところなどを撮影し、それをもとに、グループ毎に意見交換を行いました。

●写真から読み取れる魅力や課題について意見を出し合い、雑司が谷地域の現状や特徴をまとめました。

第3回 まちの魅力の整理 平成29年7月22日(土)

●まち歩きをもとに雑司が谷の魅力を整理しました。

《「道」の魅力》
○曲がった道が多いため先が見通せず、その先に何かあるか期待させるところ。

第4回 景観重要公共施設指定(案) 景観形成特別地区指定(案)の説明 平成29年8月26日(土)

●ワークショップでいただいたご意見をふまえ、区で作成した「鬼子母神大門ケヤキ並木道景観重要公共施設指定(案)」や「雑司が谷景観形成特別地区指定(案)」を説明し、意見交換を行いました。

(ご意見)

○様々な規制を合わせてケヤキ並木を守ってほしい。
○景観の届け出規模をもう少し小さくするべきだ。



指定については検討を重ね、平成30年1月に区民説明会を開催する予定です。詳細は、後日、広報でお知らせします。ご参加をお待ちしております。(豊島区都市計画課)